

# フェリー連携による効率的な海上輸送の実現

提案・要望先 国土交通省

## 提案・要望の要旨

- ◎ 高知新港の水深14メートル岸壁の早期供用及びフェリーバースの整備など全面供用に向けた沖防波堤等の整備促進
- ◎ フェリー中継基地の早期実現や宿毛湾港の一層の有効活用のための防波堤の整備促進

## 現状と問題点

### 【現状】

- ◎ 高知新港は4万トン級の大型船や外航定期コンテナ船が就航するなど、平成10年の一部供用以降、利用実績があがっています。また、平成14年4月には川崎-高知-宮崎間のフェリー航路が開設されました。
- ◎ 宿毛湾港は、四国西南地域の地域開発を誘導する港湾として整備が進められ、平成12年12月に暫定供用を開始、背後地の工業流通団地の造成もすでに8ヘクタール完了し、分譲を開始しています。また、平成14年12月には、社会情勢の変化を受け、九州～宿毛～高知～関東・関西を結ぶフェリー中継基地を位置付けるなど、港湾計画の改訂を行っています。

### 【問題点】

- ◎ 高知新港は、平成17年度には6万トン級バルク船の入港が具体化しており、また、フェリー埠頭整備のため、早急な静穏度確保が望まれています。
- ◎ 宿毛湾港は、計画しているフェリー航路の、定時性、定期性が求められるなど、港湾施設の利用のため、防波堤整備による一層の静穏度確保等が望まれています。

## これまでの取り組み状況と今後の課題

### 【取り組み状況】

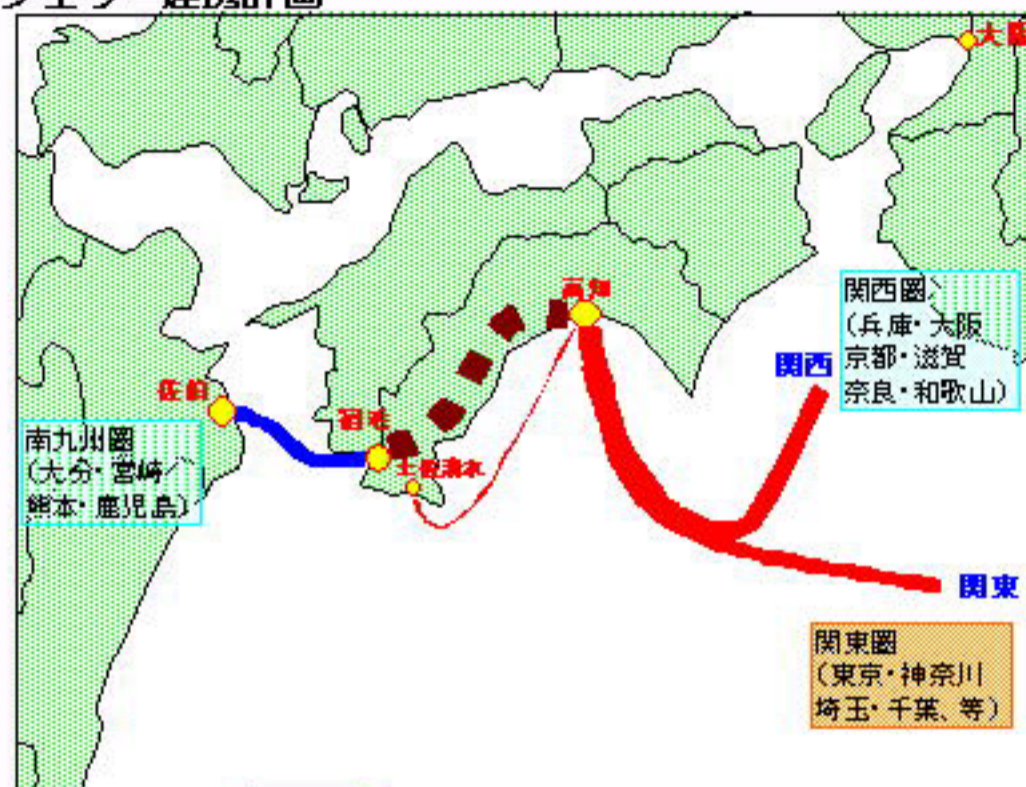
- ◎ 高知新港は14メートル岸壁の平成17年度供用や西工区フェリーバース整備に向け、防波堤整備を推進しています。
- ◎ 宿毛湾港では、背後埋立地への企業誘致について積極的に取り組むとともに、港湾計画の改訂では、フェリー中継基地の位置付けを行っています。同時に、平成14年11月にはフェリー連携計画の早期実現に向けて、フェリー事業者による試験運航も実施されています。

### 【今後の課題】

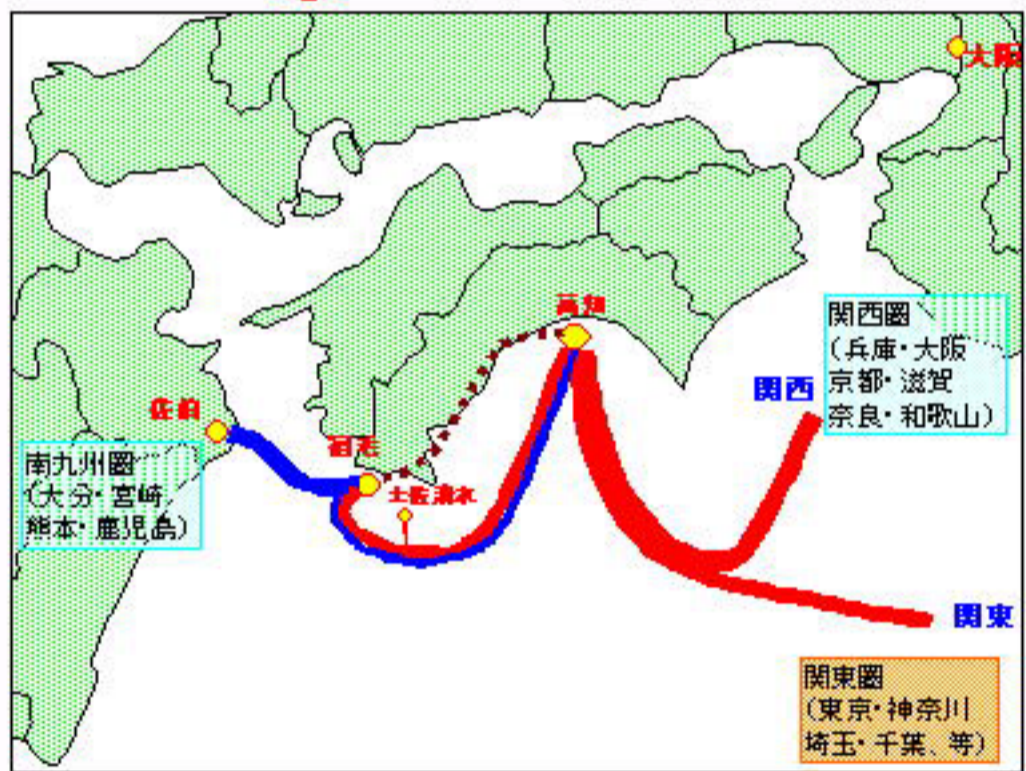
- ◎ 高知新港14メートル岸壁の供用、西工区フェリーバースの整備等早期供用に向けた沖防波堤等の整備促進
- ◎ 宿毛湾港は、供用施設の一層の利活用や、宿毛を基地としたフェリー中継基地計画実現のため防波堤等、施設整備が課題となっています。

提案・要望の具体的内容、参考図表等

◎フェリー連携計画



(地球環境にやさしい物流体制)  
(フェリー連携による無人化輸送)



【本件に関する連絡先】

	高知県港湾空港局港湾課	高知県東京事務所
所在地	〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20	〒100-0013 千代田区霞が関3-3-1 尚友会館1階
TEL	088-823-9885	03-3501-5541
FAX	088-823-9657	03-3501-5545
E-mail	175001@ken.pref.kochi.lg.jp	120102@ken.pref.kochi.lg.jp
担当者 職・氏名	港湾課長 坂本 良一 建設班長 堀本 義男	主幹 黒岩 章